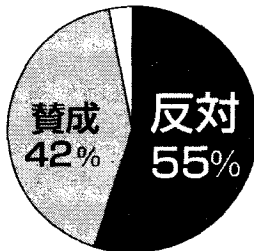


# 憲法いかす政治こそ

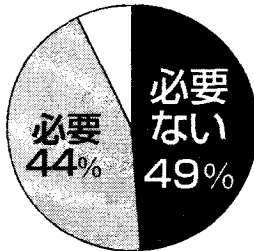
## 安倍改憲9条改正 NO!

16、17日に開かれた衆・参院の憲法審査会で、日本共産党は「改憲でなく憲法を生かす政治こそ必要」と指摘しました。

安倍首相の下での改憲



9条改正



共同通信調査(10月28日)

### 国民の多数は改憲求めず 審査会を動かす必要ない

憲法審査会は、改憲を発議するためにつくられた「憲法改定委員会」が実態。一方、世論調査では多くが安倍政権下の改憲、9条改正に反対です。日本共産党は「国民多数が改憲を求めている中で憲法審査会を動かす必要はない」と主張しました。

憲法は、世界で9条という世界で最も進んだ恒久平和の条項を持ち、30条にわたる豊か

で先駆的な人権規定が盛り込まれています。いま求められていることは、憲法を生かした政治です。

自民党の改憲草案は、平和の問題でも人権抑圧という点でも憲法を憲法でなくしてしまう、とんでもない内容です。審査会の議論のベースにするなどもってのほかです。

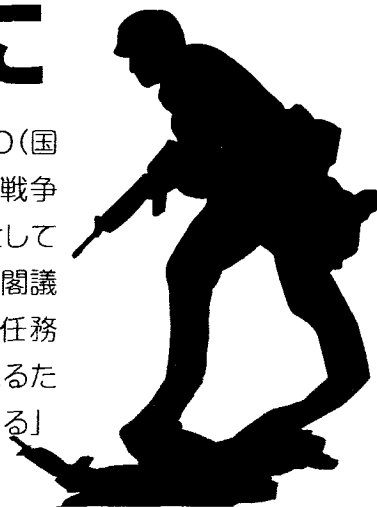


# 駆け付け警護

## 「殺し殺される」危険 現実に

南スーダン PKO

安倍政権は15日、南スーダンPKO(国連平和維持活動)に、安保法制=戦争法にもとづく自衛隊の新しい任務として「駆け付け警護」を付与することを閣議決定しました。従事する自衛隊は任務遂行に必要な武器使用が認められるため、南スーダンが「殺し、殺される」最初の例となる危険があります。



### 閣議決定に抗議 撤回を求める



日本共産党は、海外での武力行使を禁止した平和憲法を踏みこじる今回の決定に断固抗議し、撤回を強く要求します。

南スーダンは内戦下にあり、今年7月に首都で大規模戦闘が起こり数百人が死亡しました。閣議決定は「PKO参加5原則」(停戦合意や中立性など)は維持されているとしていま

すが、国連特別調査報告書(1日発表)でも和平合意は「崩壊」と断定しています。

自衛隊は南スーダンから撤退し、憲法の精神に立った紛争解決のための外交努力、非軍事の人道・民生支援の抜本的強化こそ求められます。

駆け付け警護 離れた場所にいる国連や民間NGOの職員、他国軍の兵士らが武装集団などに襲われた場合に助けに向かう任

務。政府は、現地の治安当局や国連PKOの部隊などからの情報を得て、自衛隊の部隊長の判断で実施を決めるとしている。